

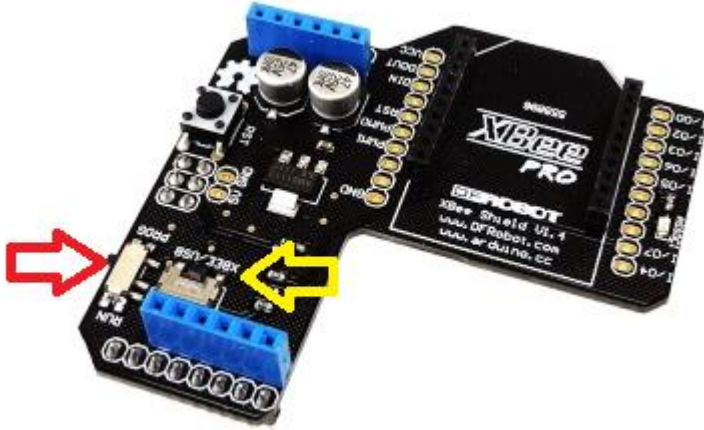
XCTU の使い方

初めに XBee をコンピュータに接続する。Arduino をコンピュータに接続し、次のスケッチを書き込む。

```
void setup(){}  
void loop(){}  

```

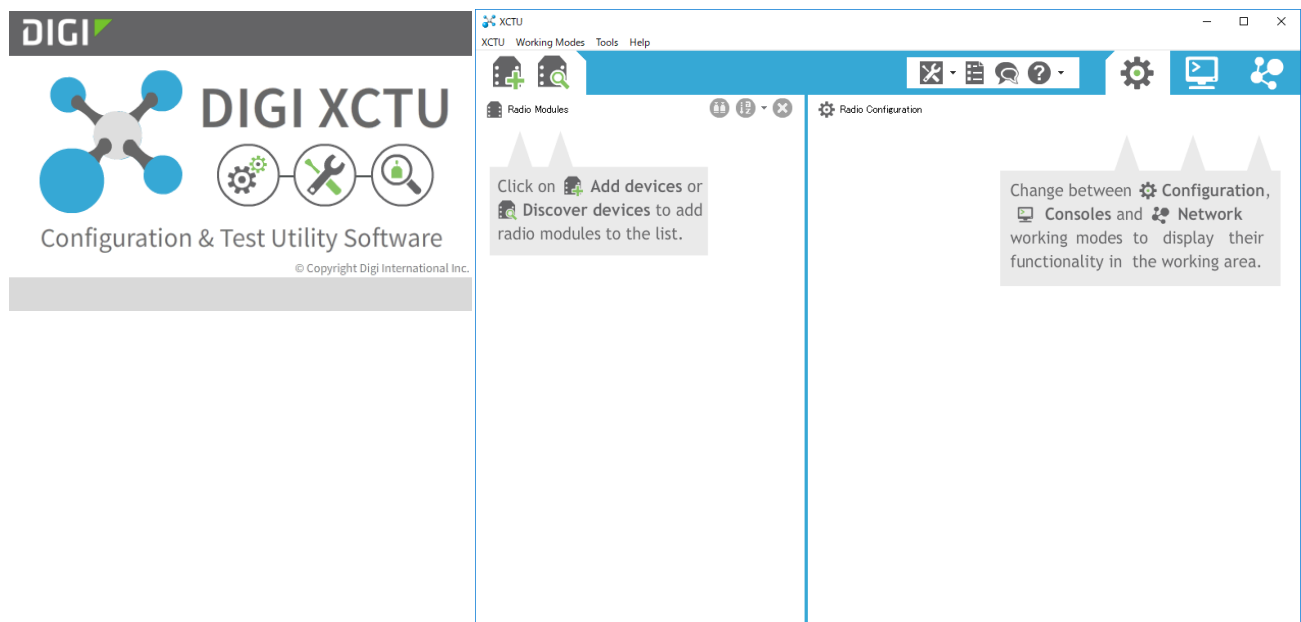
XBee のシールドを Arduino に差し込んで、スイッチを赤は RUN、黄色は USB に設定する。



XCTU を起動するにはデスクトップのアイコンをクリックする。



下図左のようなロゴが出てしばらくすると、右のような起動画面が現れる。

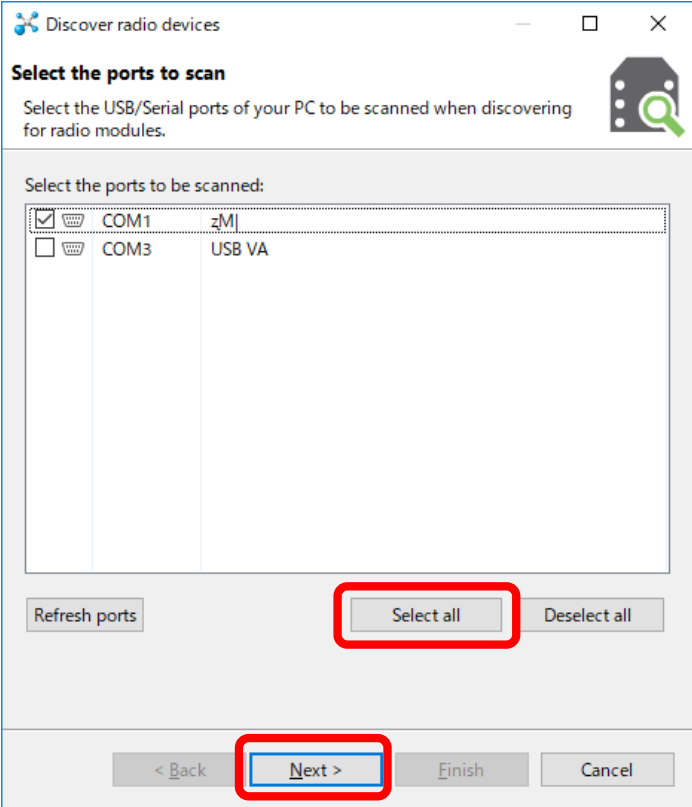


なお、ネットで XCTU を検索すると、ファームウェアを選択するという記載が見受けられるが、単純な 1 対 1 通信を行うには不要であり、また、最近は XBee の役割を変えるためだけにファームウェアを変更する必要はなくなっている。

まず、接続されている XBee を検出する。初期画面でをクリックする。

右のような画面になるので、**Select all** をクリックして、すべてのポートにチェックを入れる。

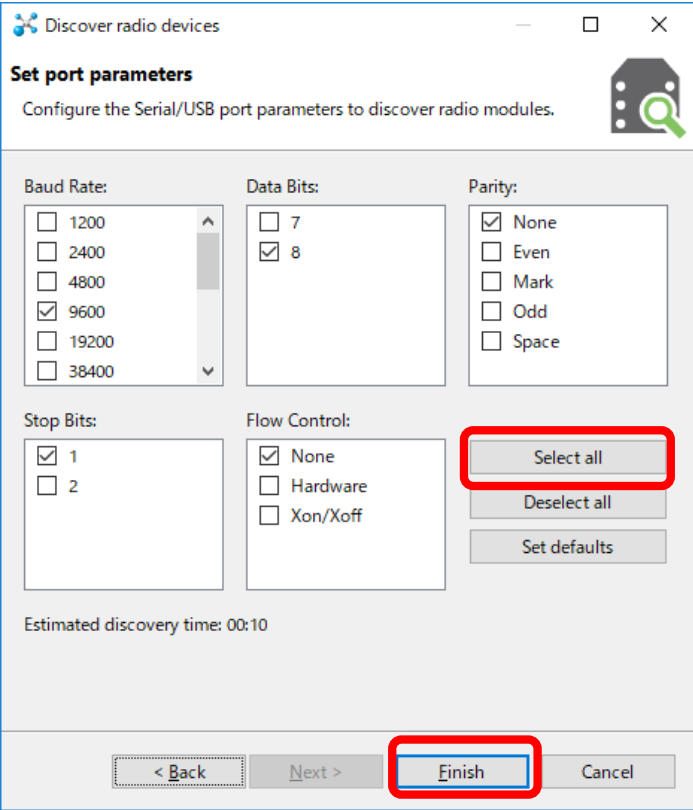
次に **Next >** をクリックする。



The screenshot shows the 'Discover radio devices' window with the 'Select the ports to scan' tab. It lists two ports: COM1 (checked) and COM3 (unchecked). The 'Select all' button is highlighted with a red rectangle. The 'Next >' button at the bottom is also highlighted with a red rectangle.

Port	Device
☒	COM1 zM
☐	COM3 USB VA

通信設定を尋ねてくるので、XBee の通信設定を何も変更していなければ、そのまま、変更したと思われるときには、**Select all** をクリックしてから **Finish** をクリックする。**Select all** をクリックすると検索に時間がかかる。



The screenshot shows the 'Discover radio devices' window with the 'Set port parameters' tab. It displays various settings for the serial/USB port, including Baud Rate, Data Bits, Parity, Stop Bits, and Flow Control. The 'Select all' button is highlighted with a red rectangle. The 'Finish' button at the bottom is also highlighted with a red rectangle.

Baud Rate: 1200, 2400, 4800, ☒ 9600, 19200, 38400

Data Bits: ☐ 7, ☒ 8

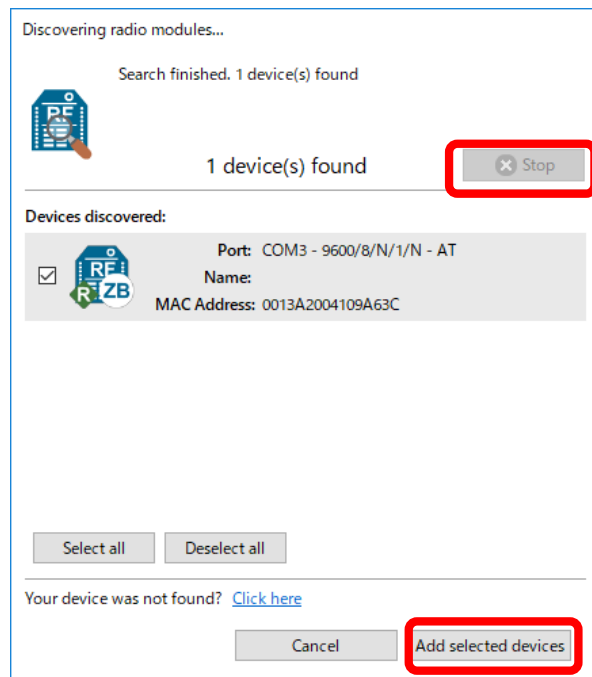
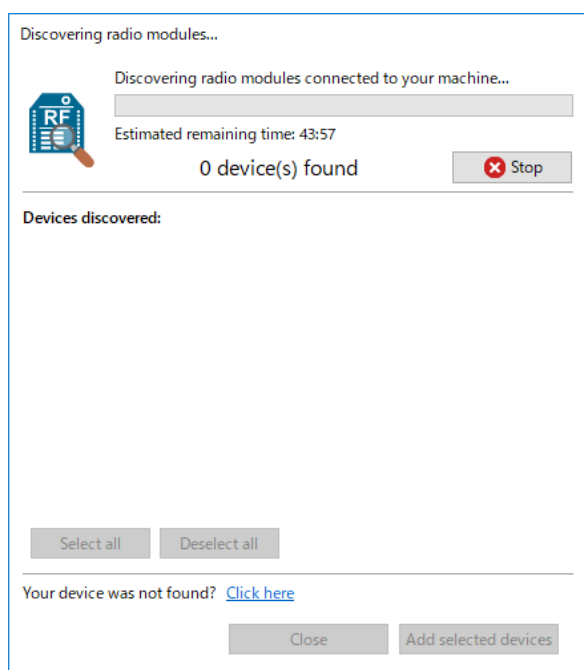
Parity: ☒ None, ☐ Even, ☐ Mark, ☐ Odd, ☐ Space

Stop Bits: ☒ 1, ☐ 2

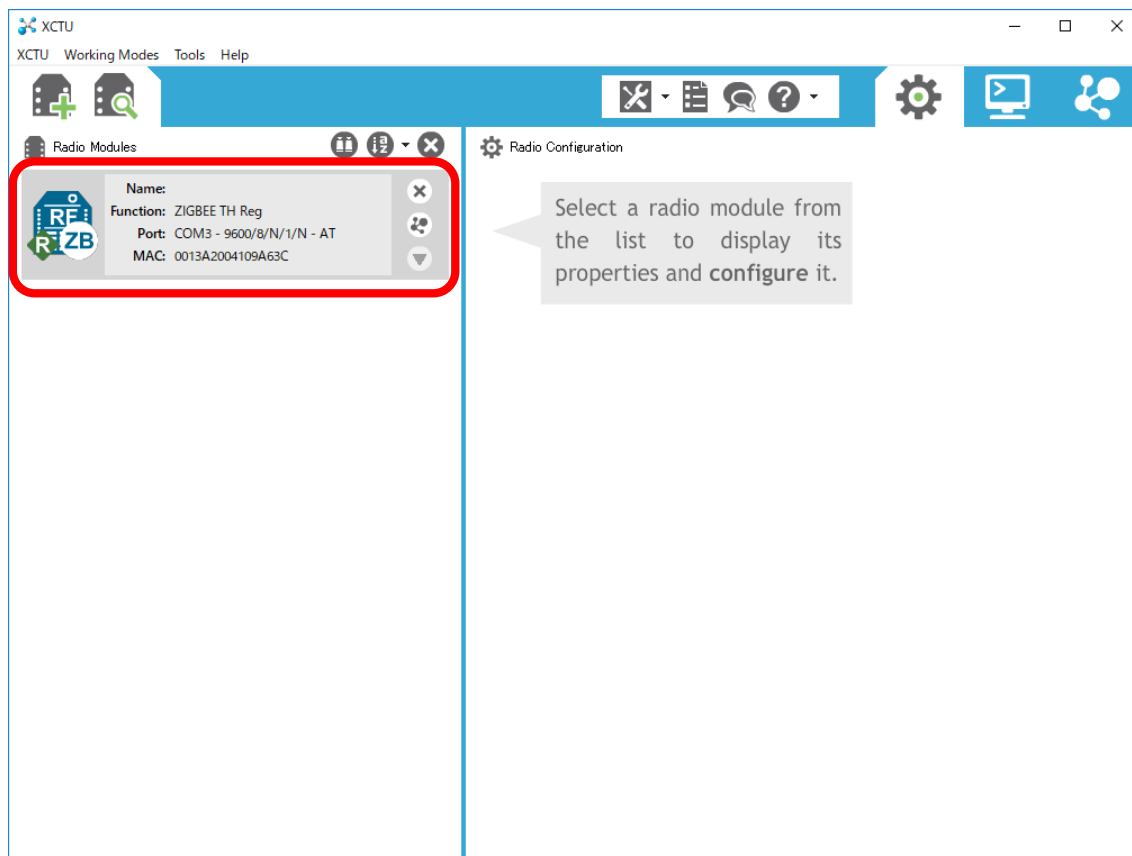
Flow Control: ☒ None, ☐ Hardware, ☐ Xon/Xoff

Estimated discovery time: 00:10

接続された Device(XBee のこと)を探し始め、しばらくすると見つかった Device の一覧が表示される。途中で検索をやめたければ、**Stop** をクリックする。見つかったら、**Add selected devices** をクリックする。

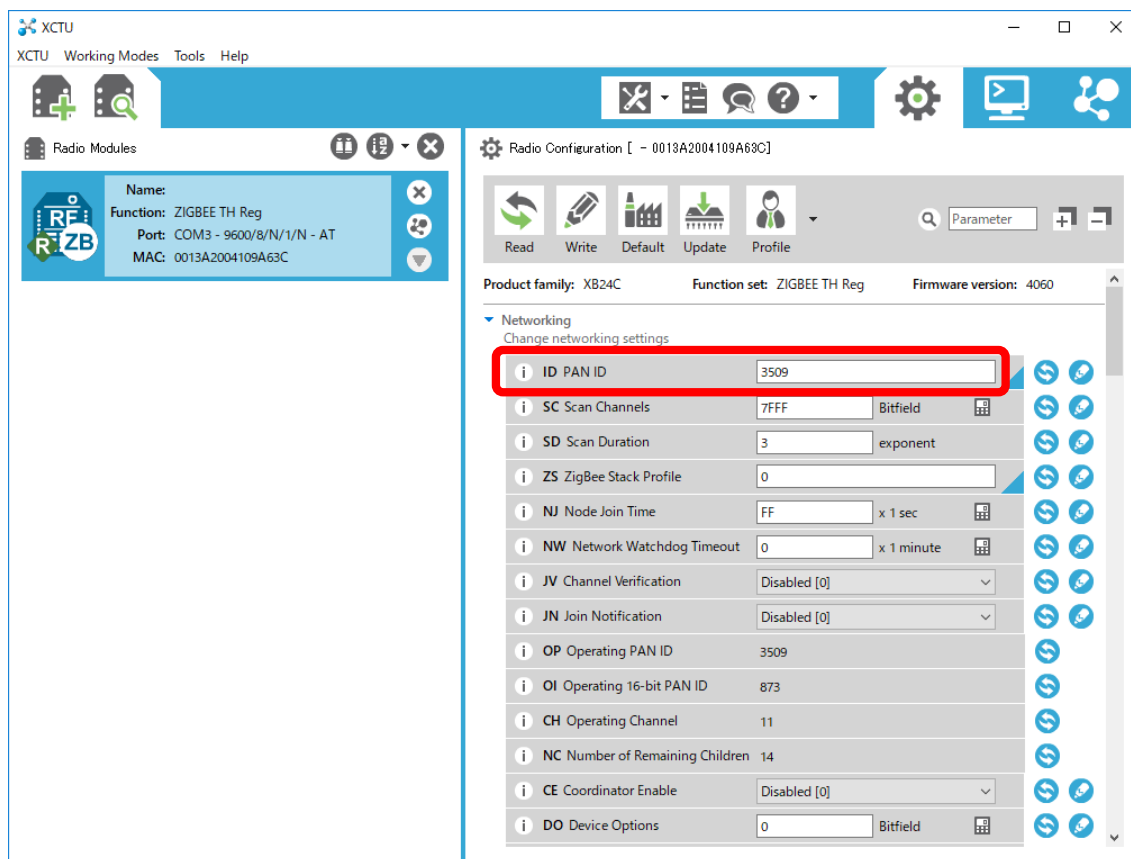


次のように表示されるので、左側の Module をクリックすると設定情報を読み込み始める。



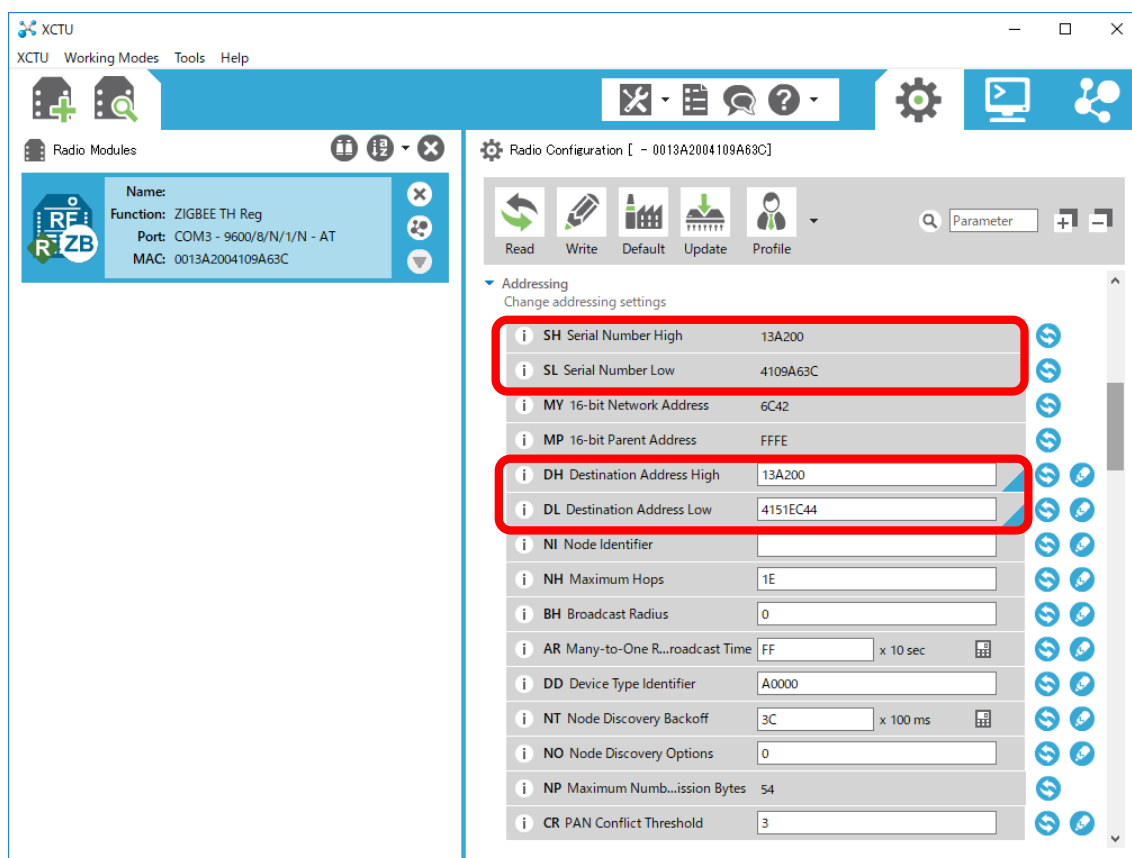
しばらくすると、右側に設定情報が表示される。設定値を書き換えて、 ボタンを押すとその設定が反

映される。最後に Write  をクリックした方がよさそう。

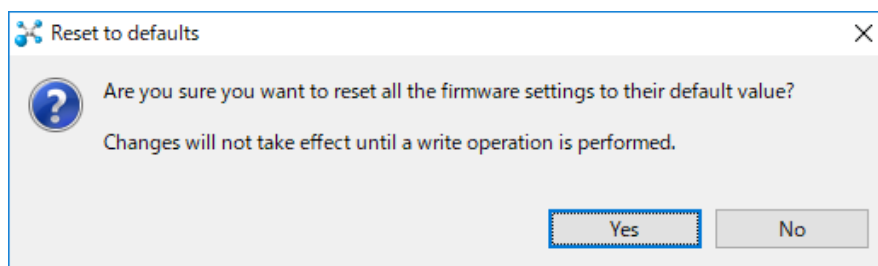


単純な 1 対 1 通信を行うだけであれば、設定するのは、ID と DH, DL だけである。ID は 2 台の XBee で共通の数を選ぶ。

DH, DL は通信相手の XBee のシリアル番号である。自分のシリアル番号は SH, SL を見ればよい。



設定がわからなくなってしまったときには、Default ボタン  をクリックし、Reset to defaults のダイアログで Yes をクリックすると、工場出荷時の設定に戻る。



2 台の XBee の設定がうまくできていれば、通信ができるはずである。左側のモジュール一覧の小さな



をクリックすると、周りの XBee を探すことができる。